

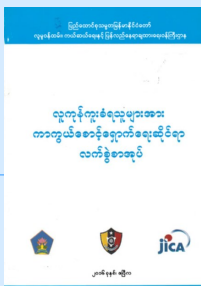
背景

ミャンマーにおいて人身取引が深刻な社会問題となる中、国際協力機構（JICA）は、ミャンマー人身取引対策中央委員会（CBTIP）に協力し、2012年から2016年まで「人身取引被害者自立支援のための能力向上プロジェクト」（フェーズ1）を実施しました。CBTIPを構成するミャンマー警察人身取引対策部と社会福祉・救済・復興省がプロジェクト実施機関となりました。

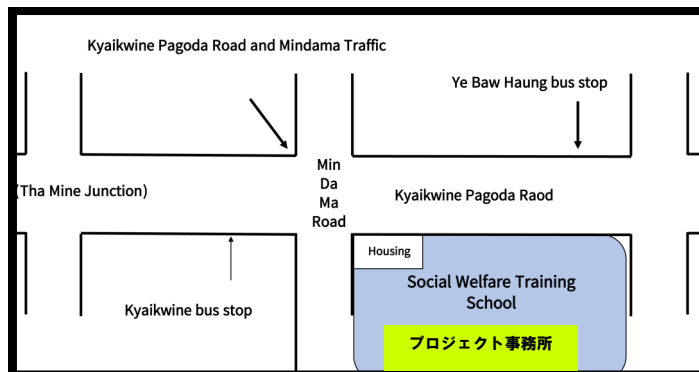
フェーズ1の成果を受け、2018年から3年間「人身取引被害者支援能力向上・協力促進プロジェクト」（フェーズ2）を実施しています。ASEANでは経済的な連携が進展し人々の移動が活発になる一方、売春や強制労働などの搾取を伴う人身取引のリスクも高まり、その予防と被害者支援への取組はミャンマーにおける重要な課題です。



2014年人身取引被害者情報センター（ICTP）開所式



2016年人身取引対策ハンドブック（第二版）



プロジェクト事務所の所在地は以下のとおりです。

ヤンゴン市 マヤンゴン地区
チャイワインパゴダ通り 65番地
社会福祉研修所内

住所: No. 65, Kyeikwine Pagoda road,
Department of Social Welfare (DSW) Compound,
Mayangone Township, Yangon

Eメール: jica.tip2@gmail.com

JICA ウェブサイト（日本語）:
<https://www.jica.go.jp/project/myanmar/032/>



人身取引被害者支援 能力向上・協力促進 プロジェクト



2018年7月 ~ 2021年7月

プロジェクト概要

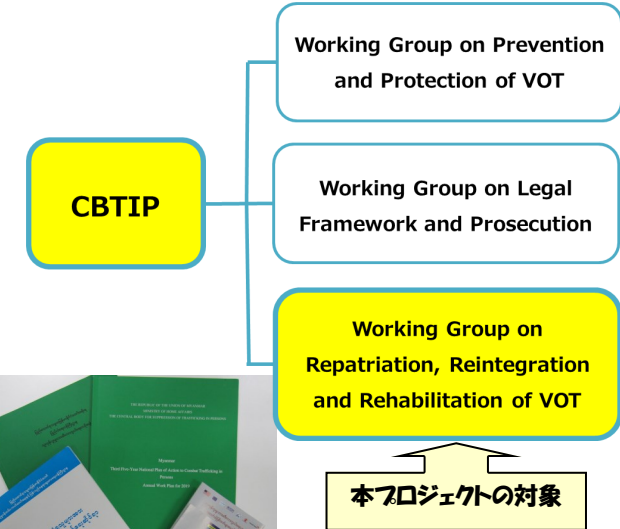
多機関連携ネットワーク
(Multi-sectoral Networking: MSN)
を通じた
被害者(Victims of Trafficking: VOT)
に対する効果的な支援

プロジェクト目標：
パイロット地域における連携強化
や中央レベルでの協働を通じて、
人身取引被害者に対する保護及び
帰還/社会復帰支援が向上する
パイロット地域: ヤンゴン、マンダレー

プロジェクト実施機関

人身取引対策中央委員会
(Central Body for Suppression of Trafficking in Persons: CBTIP)

- 内務省ミャンマー警察 人身取引対策部
(Anti-Trafficking in Persons Division: ATIPD)
- 社会福祉・救済・復興省 リハビリテーション局
(Department of Rehabilitation: DoR)



人身取引対策の講義



グループ・ディスカッション



プレゼン準備



トレーナー養成研修参加者



被害者への支援



ヤンゴンICTP



【成果1】 多機関連携活動と研修の拡大実施

パイロット地域において、
多機関連携ネットワーク (MSN) を通じて
人身取引対策に従事する被害者支援関係機関
の連携が強化される

- ◇ MSN中核人材の育成
 - フェーズ1プロジェクトの元研修員を対象とするリフレッシュ研修
 - トレーナー養成研修
- ◇ MSNの経験共有ワークショップ
- ◇ MSN好事例の普及

【成果2】 ICTPの機能強化

人身取引被害者情報センター (ICTP)の
機能強化を通じて
被害者保護・帰還/社会復帰支援にかかる
情報へのアクセスが改善される

- ◇ ICTP ヤンゴンの強化
 - 広報 (ICTPの周知)
 - 提供情報の最新化・拡充
- ◇ 新ICTPのマンダレーにおける設立
 - マンダレーICTP職員の研修
 - 提供情報の拡充

【成果3】 人身取引対策中央委員会の能力強化

被害者中心主義に基づく
人身取引対策中央委員会 (CBTIP)の被害者
保護及び帰還/社会復帰支援
にかかる能力が強化される

- ◇ CBTIP 年間計画における
インプット
- ◇ メコン地域における
JICAの人身取引対策
プロジェクトとの連携



日本での研修